

5年生・6年生 みどりのノート 活用事例

みどりのノート項目		【学年・教科】 単元	活用方法の例
SDGs（持続可能な開発目標）について		【5年・社会科】 国土の自然とともに生きる 小単元3 環境をともに守る	北九州市は、公害問題を克服してきたが、世界には公害をはじめ様々な問題があり、よりよい社会を作るためにSDGsが作られていることを知る。
公害克服について		【5年・社会科】 国土の自然とともに生きる 小単元3 環境をともに守る	教科書で学習した後に、「公害克服を目指したパートナーシップ」で、市民、市役所、工場が一つとなって公害を克服したことをまとめる。
環境国際協力		【6年・社会科】 世界の中の日本 (地球規模の課題の解決と国際協力)	(第2次 6時目) 導入で、北九州市が環境国際分野で活動していることを調べ、世界で活躍する北九州市に誇りをもち、他にも日本人々がどのように世界へ関わっていくのか考える動機付けにする。
自然環境を守るため	①きれいな空気を求めて	【6年・理科】 生物と地球環境	(第2次 4・5時目) 参考資料として、北九州市で公用車として次世代自動車を活用していることを確認し、二酸化炭素の排出削減に取り組んでいることを知る。
	②きれいな海を求めて	【6年・理科】 生物と地球環境	(第2次 4・5時目) 参考資料で、北九州市の若松区のごみ問題、曾根東小学校での曾根干潟清掃活動の取組を知る。
	③森林の役割	【6年・理科】 生物と地球環境	(第2次 4・5時目) 像かする自動車による二酸化炭素の排出から、森林の役目を改めて確認することで、川や海と繋がっていることや、私たちが使う水を生み出すことなど、森林を保全することの大切さに気付くようにする。

	④北九州市の川	【6年・理科】 生物と地球環境	(第2次 1～3時目) 課題を見付ける段階で、川や生き物マップを見て、地域の自然環境で課題はないか話し合いをする。
	⑤北九州市生物マップ		
カーボンをニュートラルを目指して	①地球温暖化って何?	【5年・社会】 国土の自然とともに生きる 環境をともに守る	発展として扱う。 自然とくらしの結びつきとして考え、できることを記入する。
	②エネルギーを生かす	【6年・理科】 私たちの生活と電気	学習のまとめとして紹介する。紹介することで、学習を身近なものと感じることができる。
	③日本の発電について	【6年・理科】 私たちの生活と電気	学習のまとめとして紹介する。紹介することで、学習を身近なものと感じることができる。
	④北九州市での発電	【6年・理科】 私たちの生活と電気	学習のまとめとして紹介する。紹介することで、学習を身近なものと感じることができる。
	⑤カーボンニュートラルを目指したまちづくり	【6年・理科】 私たちの生活と電気	学習のまとめとして紹介する。紹介することで、学習を身近なものと感じることができる。
わたしたちの生活をふりかえって	【5年・社会】 国土の自然とともに生きる 環境をともに守る	温暖化について考えた後、自分たちにできることとして生活をフィードバックする。	
やってみよう!! “地球にやさしい”生活	【6年・理科】 生物と地球環境	人は、環境と関わり、工夫して生活していることを理解する中で、自分が取り組んでいる「『地球にやさしい』生活」をチェックし、よりよい環境への理解を深める。	
未来のライフスタイル	【6年・理科】 生物と地球環境	理科の学習がすべて終わった後に、「青い地球を守ってくためには一人一人に何ができるだろう」と問いかけ、「9つの誓い」の9つにおいて、自分ができるところを話し合う。	

僕たちと一緒に  
環境について勉強しよう!

